

**製品名: キサンチンオキシダーゼウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86717**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:146 kDa; Observed MW:146 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Xanthine Oxidase
別名	XO; XOR; XAN1
遺伝子ID	7498
SwissProt ID	P47989
免疫原	ヒトキサンチンオキシダーゼの合成ペプチド

**背景**

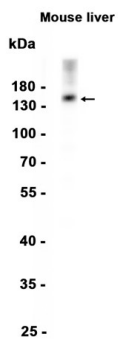
キサンチン脱水素酵素は、プリン酸代謝に関与するモリブデン含有水酸化酵素群に属する。コードされるタンパク質は、そのメ

カニズム的に異なる機能を果たす能力に基づき、ムーンライトタンパク質として同定されている。キサンチン脱水素酵素は、可逆的なスルフィドリル酸化または不可逆的なタンパク質分解修飾によってキサンチン酸化酵素に変換される。キサンチン脱水素酵素の欠損はキサンチン尿症を引き起こし、成人呼吸ストレス症候群の一因となる可能性があり、酸素代謝物依存性メカニズムを介してインフルエンザ感染を増強する可能性がある。[RefSeq 提供、2014年1月]

## 研究分野

-

## 画像データ



キサンチンオキシダーゼウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス肝臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。